

P-31. スギ花粉症（単独感作群と HD またはダニ重複感作群における） 生まれ月との関係

中井義紀

近畿大学医学部奈良病院耳鼻咽喉科

Relation between hay fever caused by cedar pollen
(It is possible to put it on single group, HD or tick repetition group) and the birth moon

Nakai, Y.

Nara Hospital Kinki University School of Medicine

1. はじめに

スギ花粉症は秋冬生まれに多く、6月から9月生まれには少ないという報告がされている。

また、スギ花粉感作とカモガヤ花粉感作率との関連性も報告されている。

今回、我々は当院を受診したスギ花粉症患者を対象として、受診者全体の生まれ月との関係、及びダニまたは HD との関連、年齢による違いを検討した。

2. 対象と方法

2003年1月より2007年12月までの間に、当院耳鼻咽喉科外来を受診しアレルギー性鼻炎と診断された者のうち、RASTまたはMAST検査においてスギ抗体を有している者

全体 609名（1924年～2002年生まれ：中央値1967年生）

男 259名（1924年～2002年生まれ：中央値1969年生）

女 350名（1926年～2002年生まれ：中央値1966年生）

全年代、1975年以前生まれ、1976年以降生まれにわけ、30歳を境に違いが認められるかも比較検討をおこなった。

3. 結果

スギ花粉抗体およびHD・D抗体を有している者に関しては生まれ月との関連は認められなかった。

1976年以降生まれ（スギ抗体陽性であるがHD・D抗体陰性）の群に対して2～4月生まれ（花粉飛散時期）と他の月生まれに関して χ^2 検定を行ったが有意差は認めなかった

1975年以前生まれおよび

1976年以降生まれにおいて生まれ月との関係を χ^2 検定を行ったが

$\chi^2(3)=6.09$ N.S となり

有意差は認めなかった

表1 全年代

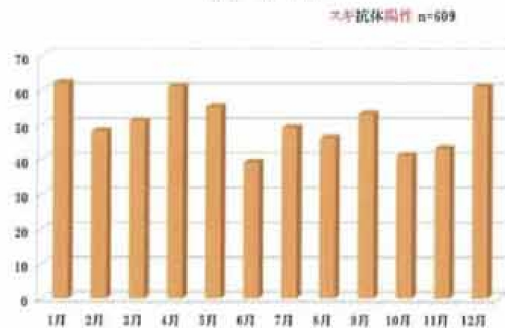


表2 全年代 生まれ年別

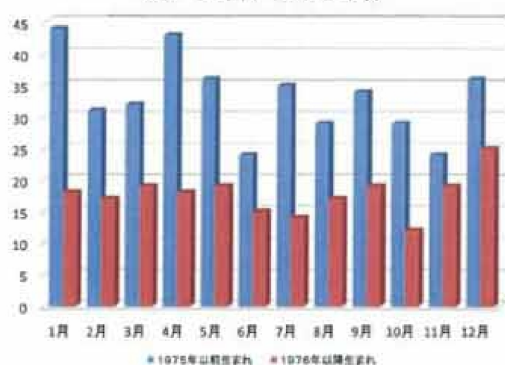
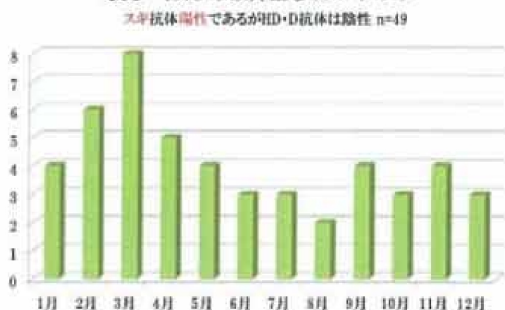


表3 1976年以降生まれスギのみ



4. 考察

生まれ月によって、花粉症罹患に差があると報告されているが、今回我々がおこなった調査においては、いずれの年代においても、いずれの生まれ月においても有意な違いは認めなかった。

若年者の HD・D 抗体を有していない者に関しては秋・冬生まれの者よりの春生まれの者のほうが受診者は多かつ

た。しかしながら、患者数が少ないため有意差までは認めなかった。

高齢者よりも若年者においては生まれ月と花粉症罹患には関係が出てくる可能性が示唆された。年代ごとに傾向を分析し、抗原暴露期間により生まれ月との関係が出てくる可能性も示唆された。